

#### 4. 寄稿: 観光産業の復活と江戸の資産活用

(一般社団法人コミュニティ ソーシャルサポート 代表理事 高山 れい子)

##### 再び蘇る日本橋

1964年、先回のオリンピック開催に当たって、急遽、日本橋の上に架けられた首都高速道路。当時の高度成長を背景に、国を挙げての整備だったが、その後の社会情勢から、日本の誇る江戸時代からの伝統の名橋の景観を著しく損ねるとして、撤去のための署名活動が行われ、2019年に国会で撤去が承認された。

世界へ発信！！

---

日本橋が300の藩と共に気づく日本の誇り・文化・経済

---

2020年の  
東京五輪パラリンピックは日本の隔々  
までの良さを知ってもらう良い機会！

日本橋は  
世界の架け橋をめざします！

---

**江戸の大動脈の起点だった日本橋**

---

日常生活を支える物質経済の売り買い  
情報、そして娯楽や異文化の交差点と  
しての役割・・・江戸時代の人々の  
暮らし方の大きな柱だった日本橋 ——  
これからも  
その役割として地域の息吹を日本に、  
世界に伝えることです。



自由を  
握め

3月ロード  
ショーとし  
て三蔵がタ  
イアップ

wanowa

---

**日本橋名橋会の願い**

---

1964年東京五輪整備で日本橋の上に重  
く覆いかぶさった首都高速道路 ——  
2018年に撤去署名の後押しを持って国  
会での承認の元に、2021年とうとう  
日本橋に青空が戻るようになりました。



※広重の日本橋界隈

---

**五街道を通じての地域創生**

---

現在、一極集中現象は、東京をはじめ  
として大都市への流れが止まりません。  
江戸時代の約300の藩が培った、伝統文  
化や暮らし方の知恵や心豊かさを、再  
びよみがえらせ、各地域の活力が日本  
を支える時代を、五街道の起点の日本  
橋は強く望んでいます。

青空を取り戻した日本橋が心から願う  
こと——  
それは300の藩の文化資産を再び、日本  
橋が担いより多くの人達に伝える交流  
を始め、伝承文化、経済の活性化貢献  
を担うことです。

日本橋が300の藩と共に気づく日本の誇り・文化・経済 Copyright ©2019 wanowa ネットワークス A | | Rights Reserved

##### 江戸の伝統文化は立派な資産

地下鉄日本橋駅の地下道には、江戸時代華やかかなりしころ、名店が立ち並んだ状況を伝える絵巻物風の常設展示がされており、いかに日本橋界隈が賑わっていたかを伝えている。また、日本橋は日本全国に張り巡らされた交通の動脈としての五街道の起点でもある貴重な存在でもある。

そこで登場したのが、現在の23区の地図をもとに、たちまちにして江戸時代にトリップできるアプリが、既に2年近く前に江戸時代に精通した専門家の集団によって実現している。現代地図、航空写真はGoogleマップを活用し、スマホで瞬時に切り替える仕組みで、アプリの名前は、「[大江戸今昔めぐり](#)」。この注目のアプリを活用して、まさに五街道をたどる全国の今昔めぐりを計画し、観光産業の復活の原動力にするのはいかがだろうか!!

## 江戸時代には 300 の藩と城に拠って独自の文化経済圏を構成

地方の活性化が叫ばれて久しいが、さしたる成果は上がっておらず、GoToトラベルなどのキャンペーンで疲弊してしまった地方の再生に躍起になっているが、復活の決め手に乏しいのが現状である。それはかつての藩を中心にした伝統文化を資産として見逃していることに起因すると思われる。疲弊しきった姿の地方には観光の視点から魅力が乏しいのは、誰の目にも明らかである。

それに比べ、江戸時代に築かれた各藩独自の伝統や文化は、観光の視点から見ても立派な資産であり、現に海外からは、富士山、芸者、そして忍者は知れ渡っており、日本への憧れと化しているのが現状!!。

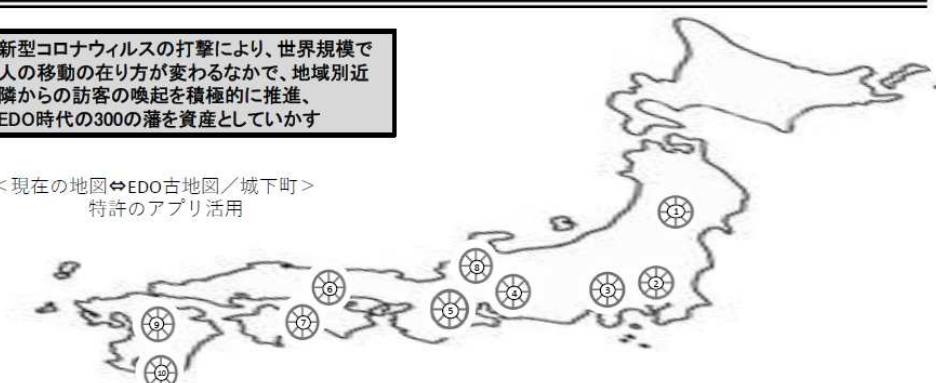
ところが、日本を紹介するのに相変わらず、美術館や博物館だと、頑固にこだわり続けているのが現実！これではいつまでもたっても世界に通用する観光立国にはなれない。日本にしかない独自の文化資産を全く生かしてないからである。

そこで、日本の観光資源は江戸時代に集約した各藩の領地を再現して、現在と江戸時代を行き来するアプリの開発と活用を具現化し、地方の活性化に効果を発揮する観光政策が求められており、効果が期待できる。具体的には 300 の藩を約 10 位の地域ブロックに分けて、地域内での観光を活発にする構想である。訪れた観光客は独自の伝統文化に触れ、再度の観光が期待でき、リピート客が増えていく！

**全国一律の開始ではなく、地域ごとの観光力を強化**  
**GO TO トラベラー促進は10の地域藩をクラスタに地域ごとの活性化がカギ**

新型コロナウイルスの打撃により、世界規模で人の移動の在り方が変わるなかで、地域別近隣からの訪客の喚起を積極的に推進、EDO時代の300の藩を資産としていかす

<現在の地図⇄EDO古地図／城下町>  
特許のアプリ活用



<10カ所の観光ブロックごとの活性化>⑩×30藩=300 (10の中核の各藩を取り囲む平均30の小さな藩との活性化)

拠点地 ①仙台 ②小田原 ③静岡 ④名古屋 ⑤姫路 ⑥岡山 ⑦松山 ⑧金沢 ⑨熊本 ⑩鹿児島 etc.

---

観光需要の喚起策をもって経済の再生をはかることは感染拡大防止と社会経済活動の両立が命題であり、特に観光産業の再生を国内の需要起こしに主力をおくことの発想の転換が前提。  
(脱インバウンドに発想を切り替え、国内の地域ごとの活性化=マイクロツーリズムを星野リゾートが実施)

全国一律の開始ではなく、地域ごとの観光力を強化 Copyright ©2020 CSS all Rights Reserved

## 各国独自の歴史遺産が決めて!!

私たち日本人が歴史の中でも、とりわけ江戸時代に愛着がある。NHKの大河ドラマも江戸時代にスポットを当てたものが多い！来年は静岡県の駿河が舞台となり、徳川の時代から明治への転換期を、渋沢栄一を中心にシリーズ化が予定されている。